

日本の
ダート競馬の夢、
ここに
ある。

JBC史上最強の マッチレース。スマートファルコン VS トランセンド

2011年JBCクラシック。ダート交流重賞6連勝中の
スマートファルコンと、ドバイWC2着のトランセンドが、
遂に直接対決。最後の直線、逃げるスマートファルコンを
トランセンドが猛然と差を詰めるも、わずか一馬身届かず。
他馬はまるで眼中にないような
究極のマッチレースが繰り広げられた。

3歳馬が初の栄冠。
最終コーナー、人気馬3頭の争い
かと思った刹那、
ホワイトフーガが
内から一気に先頭
に踊り出る。大本命の女王を撃破。
終わってみれば、2着サンピスタに5馬身差の
歴史的圧勝。JBCレディスクラシック
初の3歳女王が誕生した。

名牝
ロジータの孫、
レギュラー
メンバー
初代
2001年JBCクラシック。日本の生産者の夢をのせて、すべての
競馬ファンの希望をのせて、ダート競馬の祭典、
JBCが開幕。初開催は大井。
かつて南関東の三冠に輝いた歴史的名牝、
ロジータの孫が
JBCクラシックの初代王者に輝いた。

GI9
ヴァーミリアン
日本競馬史上初。
勝の怪物、

逃げ、
スマート
ファルコン。
2010年JBCクラシック。この年、前哨戦の日本テレビ盃を制し、
地方馬初の一番人気に支持されたフリオーソ。地元船橋開催、
地方ファンの夢をのせて迎えた大一番は、スマートファルコンの「大逃げ」
という予想外の
戦略により悔しい
敗戦となった。

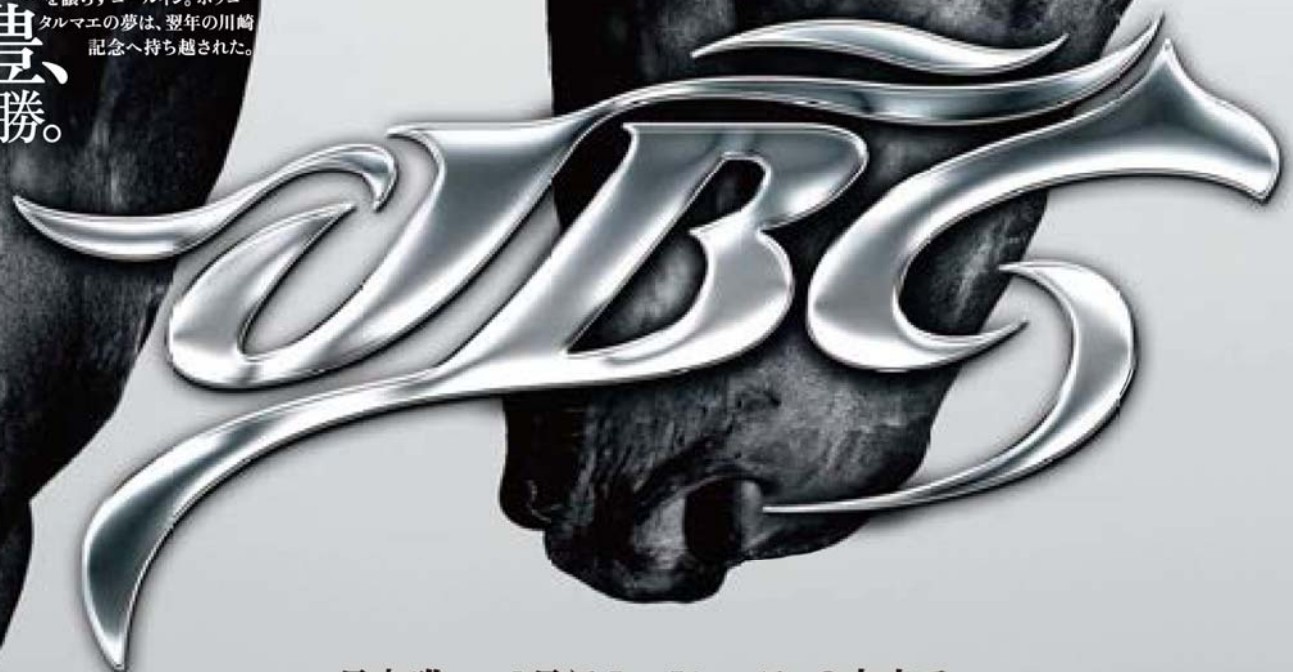
悲願達成。
地方馬初のJBC制覇。
大井の
英雄、
フジウェーブ
2007年JBCスプリント。JBC開幕以来、
クラシックスプリントともにJRA勢の
6連勝。この年も地方馬劣勢
という予想がされる中、
奮起したのが
大井のフジ
ウェーブ。見事クビ差の
激戦を制し、地方競馬関係者
の悲願が達成された。

7
ワンダーアキュート
度目の正直。
悲願の戴冠。

地方の帝王、
フリオーソの夢は
遠のいた。

コパリッキー、
復活のV
武豊、
驚愕の
通算7勝。
2015年JBCクラシック。
この年の大本命は、GI10勝の大記録に
挑むホッコータルマエ。しかし、JBCクラシック
6勝の武豊と前年王者コパリッキーのコンビが
立ち上がる。
レース序盤
から主導権を握り、終始先頭
を譲らずゴールイン。ホッコー
タルマエの夢は、翌年の川崎
記念へ持ち越された。

2012年JBCクラシック。GIではなかなか勝て
なかったワンダーアキュートが半年ぶりの出走。
5番人気に甘んじるも、初出走となる川崎の舞台で、
前2走の惨敗ぶりが嘘かのような5馬身差
の圧勝。7度目の挑戦で、遂に
GI初勝利を取めた。



日本唯一。1日にJpnIレース、3本立て。

〈 JBCクラシック (JpnI) 2100m 〉 〈 JBCスプリント (JpnI) 1400m 〉 〈 JBCレディスクラシック (JpnI) 1600m 〉

11.3 祝未 川崎競馬場

●※成年の方は競馬投資額を記入してください。